

貧酸素水塊速報 (2017年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 東京都環境局
 (国)国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成29年8月24日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部から盤洲沖及び中の瀬西にかけての広範囲に分布しています(図1)。図2の縦断ラインの鉛直分布をみると、貧酸素水塊は水深10m以深にあり、扇島沖では海底から20mの厚みがあります。規模は40%を超え、再び拡大しました(図3)。

表層と底層の海水の密度差が大きく、鉛直混合が起きにくい状況のため、今後さらに底層の貧酸素化が強まる可能性があります。

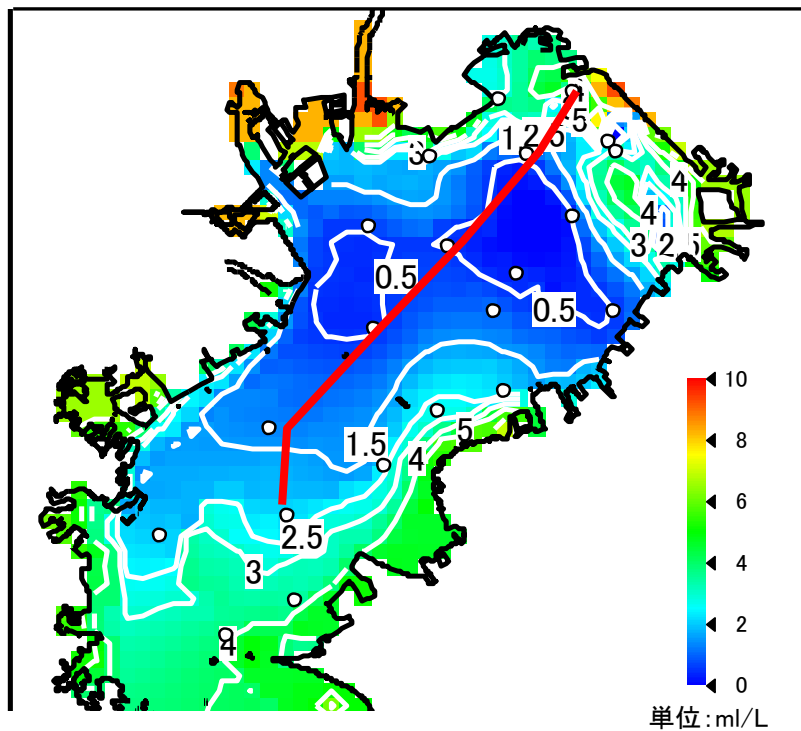


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

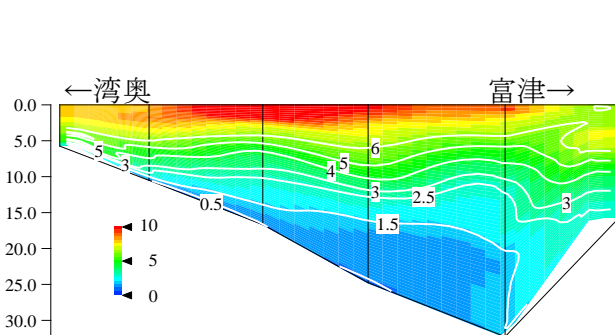


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

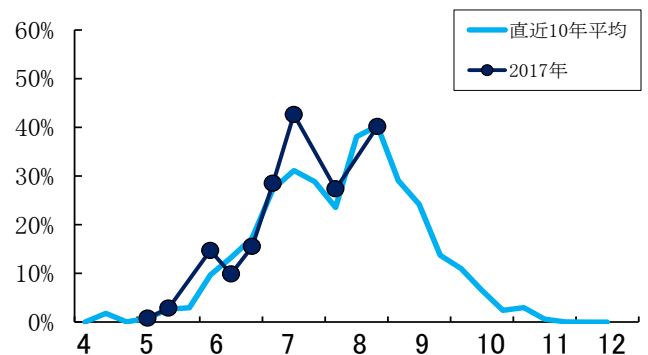


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)